

学科 学年	D1, S1 M1, E 1	科目 分類	生物学 Biology	講義 必修	ME (前期) DS (後期) 1単位	学習教育 目標 B	担当	小坂洋子 KOSAKA Yoko
概要	生物学は、現在 最も活発に研究がなされ、発展してる分野の一つであり、ポストゲノム時代の幕開けとともに、再生医療などにも大きな展望が開けつつある。時代と共に進歩する生物学を理解するための、基本的な知識を習得する。遺伝では、減数分裂の過程からメンデルの法則を理解し、生殖・発生の分野と合わせ、すべての生物が祖先から遺伝子を引き継ぎ、子孫にそれを受け渡していることを学習する。恒常性の維持では、人体に焦点を絞って生命を維持するための様々なしくみを理解し、健康により良く生活していくための科学的知識とする。また、適宜ホットな話題を取り上げ、実生活に生物学が深くかかわっていることを紹介する。							
科目目標	生物界のしくみを理解・探求するための基本的知識を習得する。 これにより自分自身の身体や社会現象を生物学的にとらえる視点を養い、生物学に継続的な興味を持つことを目的とする。							
教科書 器材等	プリント教材、新編生物 (東京書籍)、ダイナミックワイド図説生物(東京書籍)、ビデオ教材							
評価の基準と 方法	定期試験の成績70%に、提出物20%および授業中の態度10%を考慮して評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目								
授業計画								
	第1回 細胞のはたらきと構造 (細胞内小器官) 第2回 細胞のはたらきと構造 (細胞膜の性質とはたらき、酵素) 第3回 染色体と細胞分裂 (体細胞分裂、減数分裂) 第4回 動物の生殖と発生 第5回 発生のしくみ 第6回 植物の生殖と発生、ES細胞の話題 第7回 遺伝 (1) 第8回 定期試験 第9回 遺伝 (2) 演習 第10回 遺伝 (3) 第11回 神経系 第12回 恒常性の維持 (1) 内部環境と恒常性の維持 第13回 恒常性の維持 (2) 生体防御 (免疫反応) 第14回 恒常性の維持 (3) ホルモンによる調節 第15回 恒常性の維持 (4) 血糖値の調節、糖尿病の知識 第16回 恒常性の維持 (5) 肝臓、腎臓のはたらき 第17回 定期試験							
オフィスア ワー	来校は授業日のみ。質問は授業時間内や授業後にしてください。							
備 考	配布したプリントはファイルにまとめて、毎回 必ず授業にもってくること。							